

# マイコプラズマ肺炎に要注意！

2016年12月 文教大学湘南校舎 保健センター

マイコプラズマ肺炎は「マイコプラズマ ニューモニエ」という病原体が肺に感染しておきます。1年を通してみられますが、今年は特に多くなっています。

一般的な肺炎よりも症状が軽いので、“風邪が長引いてる”と自己判断で病院などに行かず、見逃してしまう事があります。

発見が遅れ症状が悪化すると、入院が必要になる事もあります。

## ■ 主な症状

- ・ 咳（※熱が下がった後も長引く咳）
- ・ 発熱（37℃の微熱～高熱）
- ・ 全身のだるさ
- ・ 頭痛
- ・ のどの痛み
- ・ 鼻水、鼻づまり

## ■ 潜伏期間

通常 2～3 週間

## ■ 感染経路

飛沫感染：咳・くしゃみ等が飛ぶ事で、近くにいる人が感染する

接触感染：感染している人と接触する事で生じる

## 予 防

① うがい・手洗い・マスクの着用



② 規則正しい生活



③ 症状がある時は早めに受診



※マイコプラズマ肺炎にかかったら、教育支援課・保健センターへご連絡ください